



# Muse Letter

2009.11 No.39 発行・札幌市博物館活動センター

〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ内5階

TEL 011-200-5002 FAX 011-200-5003 <http://www.city.sapporo.jp/museum/>

## 水たまりに生きる

秋の雨あがりの後、アスファルトの上にてきた小さな水たまりにトンボが卵を産んでいました。しかし、水たまりは翌日には干上がってなくなっていました。このような雨や雪どけ水がたまっただけの水たまりは、変化しやすい過酷な環境といえます。そこに生き物が生息するとは思わないかもしれません。

ところが、自然界にはそんな水たまりさえも利用する生物がいるのです。水がたまと発生し、水がなくなると同時にパタッとなくなる「なぞめいた」生物はテレビや本でも時々紹介されますが、実は身近にもそんな生き物がいるのです。キタハウネンエビは、石狩砂丘の海岸林の中に春先にだけできる水たまり（融雪プール）の中で卵からかえり、成熟し、卵を産んで一生を終えます。その一生は2～3週間と言われています。もっと身近な例では、何もいなかった水たまりにアメンボやゲンゴロウの仲間がいつのまにかやってきます。水たまりが干上ってくれば動物は別の水辺へと移動もできますが、植物はそうはいきません。

今年9月、銭函海岸の水たまりに数種類の水草が生えていたという情報をいただきました。この水たまりにつながる川はなく、主に雨がたまってできたと思われれます。その年の降水量にもよりますが、こうした水たまりは自然のなりゆきで数週間や数ヶ月で水がなくなっていきます。すると、水辺の植物の中には“水中の体形”から“陸上の体形”へと形を大きく変化させて生き続けるものもあります（写真）。また、植物のタネの多くは、芽を出す条件がそろうまで休眠しています。

長い長い時間をかけた生物の進化の中で、様々な環境変化がありました。それをくぐり抜けた遺伝子があるからこそ、現在も生物はある程度の変化に柔軟に反応することができるのです。（山崎）



浅い場所や陸上での形。



水中での形。

写真. どちらもエゾノミズタデ（タデ科）。

### 参考文献

五十嵐聖貴 2007. 北海道石狩海岸林におけるキタハウネンエビの成長速度と生存期間. 第54回日本生態学会大会講演要旨集 一般講演 P3-079.

石狩浜海浜植物保護センター 2006. 企画講座「キタハウネンエビの生態を学ぶ」より. 石狩浜海浜植物保護センター通信「はまぼうふう」vol.19.

「博物館」を意味する英語Museumの語源であり、喜びを表すmuse(ギリシャ語)と通信や手紙を意味するLetter(英語)からMuseLetterと名付けました。



## 実習生がひき出し展示をつくりました!

9月に3大学から計9人を受け入れ、学芸員資格を取るための博物館実習を行ないました。

実習生それぞれの10日間はどんなものだったのでしょうか? 感想を書いてもらいました。

最初にスケジュールを聞いたときは、正直やっていけるか不安だった。でも自分達でアイデアを考え、製作に失敗しつつ完成させた展示はすごく輝いて見え、とても達成感があった。

(酪農学園大M.A.)

この夏は実習のおかげで異常なほど充実した時を過ごせた。自然や生き物の世界に触れて一番感じたことは、当たり前のように生活の中にあふれる命の存在である。そんなことに改めて感動できた実習でした。

(市立大学S.W.)

学芸員の仕事は様々な能力が必要だと思った。展示では美術的なセンス、標本収集では鋭い鑑識眼、体験学習会では体力と広範な知識、研究では深い専門知識といった何人分もの仕事が集約されていることを実感した。

(酪農学園大A.T.)

展示方法や企画展の目的を自分で考えたことで、より多くの人に博物館の楽しさや深さを知ってもらいたいと思いました。

(北翔大A.N.)

自然史博物館は敷居しきいが高いイメージがあった。しかし、入ってみると自然ってとても身近で、手に取りやすいものだった。興味がわくのは当たり前なものだと思った。

(市立大学H.K.)

学芸員の仕事は思っていたより幅広い知識や技術がなければいけないということがわかりました。(酪農学園大E.K.)

博物館は暗いイメージだったのですが、アクティブなイメージに変わりました。

(酪農学園大M.T.)

学芸員は研究のプロでなくてはいけないことを学びました。自分の専門分野はもちろん、それにつながる分野についても幅広く知識を身につけなくてはならないと

感じました。  
(北翔大S.Y.)

自然史の分野は普段あまり触れることがなく、新しいことの連続でした。学芸員として展示を考え、実際に製作する仕事もさせていただき、展示の難しさを知りました。

(市立大学A.S.)